



UNITED ARROWS LTD.

2005.4.1～2005.9.30

第17期 中間事業報告書



東矢通信 第十二卷



UNITED ARROWS LTD.

「ユナイテッドアローズ」の社名には、ひとつの目標に向かって直進する矢（ARROW）を束ねた（UNITED）ものという意味が込められています。東矢通信の「東矢」とは、「ユナイテッドアローズ」を和訳したものです。半期に一度、株主の皆様へお送りしているこの「東矢通信」こと、事業報告書では、当社の直近の業績のみならず、当社を取り巻く今を、特集やコラムを交え、わかりやすくお伝えしてまいります。

目次

	Page
財務ハイライト	1
To Our Shareholders	2
Interview with the President	3
特集『ユナイテッドアローズの「ウツワ」強化策に迫る』	5
Business News	7
コラム『ブルース・ウェバーとの素晴らしい出会い』	10
中間貸借対照表	11
中間損益計算書	12
中間キャッシュ・フロー計算書	12
売上・店舗データ	13
株式データ	15
トピックス	16
会社概要、役員一覧、沿革	17
ご案内	18

財務ハイライト



(※1) 第17期の売上高、経常利益、当期純利益および1株当たり配当金推移は予想値となります。
(※2) 2004年5月20日をもって、1株を2株に株式分割いたしました。

＜将来予測に関する記述についての注意事項＞
 当事業報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おください。



UNITED ARROWS LTD.

UA理念

(Philosophy of UNITED ARROWS Group)

「MAKE YOUR REAL STYLE」

私たちは、新しい「日本の生活・文化の規範」

(THE STANDARDS OF JAPANESE STYLE)

となる価値観を創造し続ける集団です。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。ここに、当社第17期中間期（2005年4月1日～9月30日）の営業の概況と決算につきましてご報告いたします。

今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2005年12月

代表取締役会長

重松 理

代表取締役社長

岩城 哲哉

この写真は、ダーズリン・デイズ 丸ノ内本店にて撮影いたしました。

To Our Shareholders



Interview with the

「自己否定と連続的变化を繰り返し、 マイナーフィールドからメジャーフィールドへ移行します」

←◀◀ 上半期を振り返っていかがでしたか？

上半期の業績は、売上・各段階利益とも前年実績・期初計画を上回り、中間最高益を達成することができました。また、売上の拡大を図りながら、在庫増加率の抑制や、売上総利益率の向上という課題も同時に改善させることができました。売上が好調に推移した要因としては、天候の順当な推移や景況感の改善などといった外的なプラス要因だけでなく、地道に行ってきた内部の様々な取り組みが結果につながり始めたと考えています。

売上の拡大につながった内部の取り組みについて、今回は「商品面」「販売面」からお話しさせていただきます。

まず「商品面」については、以前は調達を「春夏」「秋冬」の2シーズンの販売期間に大別し、それぞれ「シーズン開始前に計画する商品（初回企画商品）」「シーズン突入後に計画する商品（追加企画商品）」に分けて計画・調達を行ってまいりました。これを今春夏から、より売上の山に連動した調達を可能とするため、販売期間を6つに細分化しました。この結果、売上に拡大させながら適正な在庫水準に抑える、という仕組みの土台が構築できました。

次に商品面については、2004年4月に設置した「総合企

←◀◀ 構造改革の進捗と今後の見込みについて教えてください。

現在行っている構造改革は、2001年8月から開始した「仕入生産構造改革プロジェクト」がその原型となっています。翌2002年には、より広範囲な課題を洗い出すため、

画情報室」が、企画の根底となる今後の消費動向の大きな流れ（お客様の気分）を全社で一元化し、その情報を元にユニテッドアローズ（UA）、グリーンレーベル リラックス（GLR）などの各部門がそれぞれの事業コンセプトに沿ったシーズンディレクションに落とし込んでいく、というフローを策定しました。

「販売面」については、2003年よりクロムハーツ業態を導入し、大きな成果を挙げているハウスカードを今春より各スモールビジネスユニットに導入したほか、主力のUA、GLR業態においても、テスト稼働を開始しています。また、UA業態では、お客様満足の極大化に向け「クレームまでは至らなかったが、お客様にご不満を与えてしまったと想定される事項」を日々、1件ずつ洗い出すことで潜在クレームの撲滅に向けた取り組みを開始しました。

これらの取り組みの成果が、上半期の好業績の原動力となっていることは確かですが、それぞれの取り組みはまだ「フレームができつつある」という段階に過ぎません。今後は、これらのフレームに沿ったより精度の高い業務を展開するとともに、将来に向けた新たな取り組みにも積極的にチャレンジできる体制を構築していきます。

「商品」「販売」「経営管理」「組織風土」という4つのプロジェクトに発展させ、その直下に具体的な案件を検討するための分科会を複数設置しました。ここから2004年までの約2

President

年間、各分科会のテーマを発展的に修正しながら課題の発掘と具体的対応策の検討を進めてきました。そして2004年下半期からは、「より結果に結びつく課題」を検討するため、「1. UA業態商品部改革プロジェクト」「2. 店舗コスト削減・生産性向上プロジェクト」「3. 海外生産・物流体制構築プロジェクト」「4. 在庫回転向上プロジェクト」「5. 経営理念体系一部改定プロジェクト」の5つのプロジェクトを立ち上げました。この結果、前期は売上総利益率、販管費率、在庫水準に関して、「数値の改善」という目に見える形での成果が現れ始めました。

今期首より、さらに結果に直結する内容に絞り込み、「売上総利益率の向上」「在庫水準の適正化」「生産性（一人当たり売上高）向上・販管費率の低減」を目標とした各プロジェクトに再編し、来期末を目処に高い社内目標値を設定しました。その結果、上半期の目標値については、ほぼクリアすることができました。ただし、現在の成果は、設定した来期末の目標値に比較すると、まだ3~4合目であると言えます。

←◀◀ 長期的な視点で見た場合、今のユニテッドアローズはどのようなポジションにあると考えますか？

現在の当社は、「マイナーフィールド」から「メジャーフィールド」に移行する過渡期であると認識しています。例えば、ハイキングと登山を思い浮かべてください。ハイキングに行くような軽装で冬山に登ったら、登頂はおろか、生きて帰ってこられるかどうか分かりません。百戦錬磨のグローバル企業とも互角に戦わなければならないメジャーフィールドでは、従来の思考や手法では全く太刀打ちできないということです。そのために行わなければならないことは「自己否定」と「連続的变化」であると考えています。ただし、すべてを否定し変化すると言うわけではありません。ユニテッドアローズは、創業以来17年間蓄積し

To Our Shareholders

下半期については、目標を必ず達成できるよう、取り組みをさらに加速させていきます。売上総利益率については、2005年4月に設置した商品統括部が中心となり、各お取引先様と全社的・長期的な取り組みを進捗させ、原価低減を図ることでさらなる向上を目指します。在庫水準の適正化については、GLR業態で先行して開始した週次の売上・仕入計画（52週MD）の深耕を図るとともに、その他の業態にも波及させていきます。最後に生産性向上・販管費率の低減については、店舗短時間勤務者の試験導入や全社的な経費削減アイデアの募集を続けることにより、ビジネスフォーマットである販管費率40%の安定的な実現を目指します。

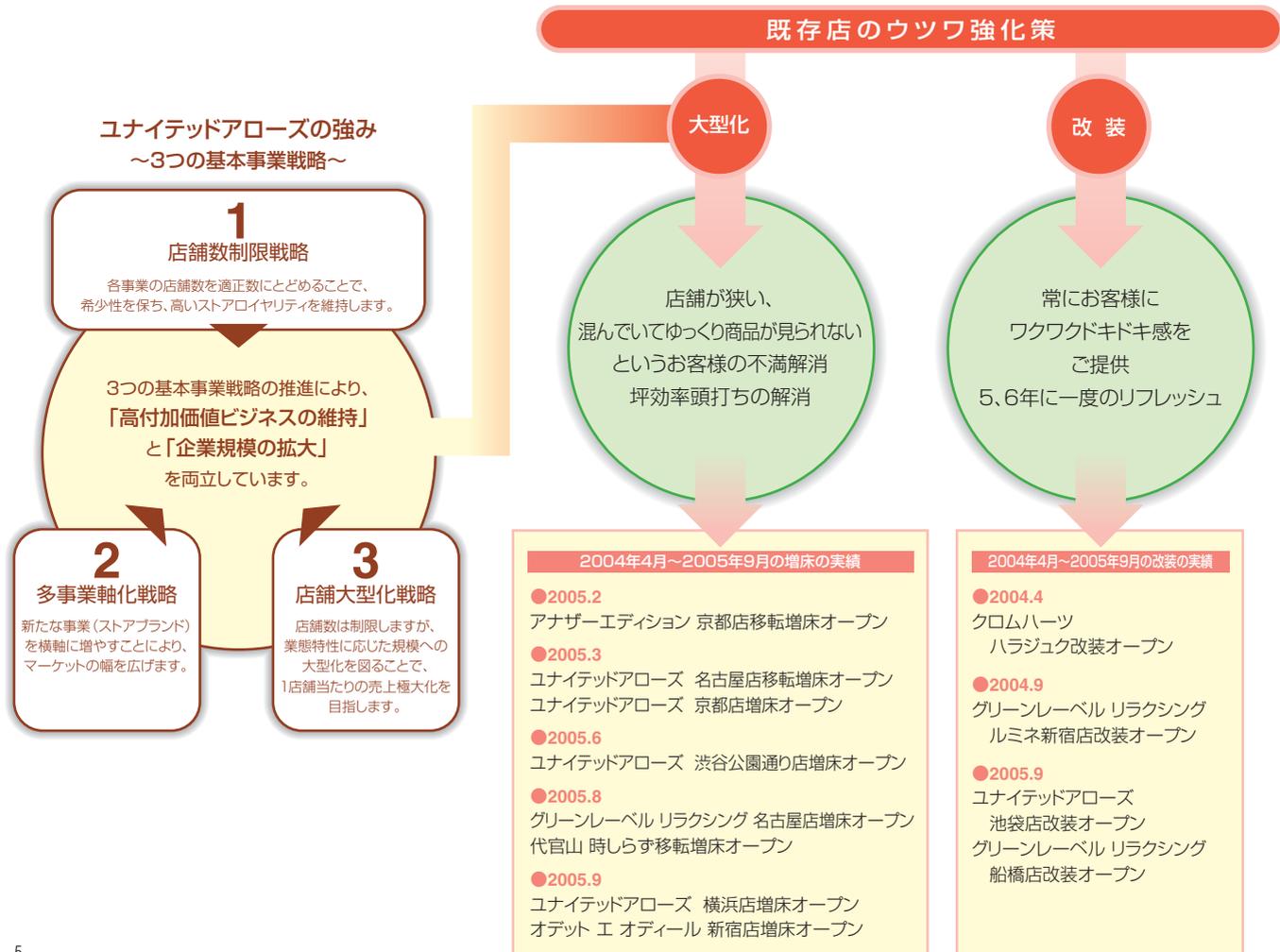


てきた様々な資産を持っています。それは「個性」や「勢い」という言葉で表現することができます。これらの資産を最大限に活かしながら、「組織・計画的なパワー」を発揮し、「高い目標と実現に向けた進捗管理」を行う。次のステージに上がるための準備をしっかりと行うことで、メジャーフィールドでもお客様へ高いご満足を提供し続け、株主の皆様、そして社会に貢献し続けていきたいと考えています。

代表取締役社長 岩城 哲哉

ユニテッドアローズの「ウツワ」強化策に迫る

ユニテッドアローズは、お客様により高いご満足を提供するため、新規事業開発や既存店の強化を積極的に行っております。「ウツワ」強化策のひとつとして、当上半期もユニテッドアローズ横浜店の増床、池袋店の改装などを行いました。今回の特集では、最近積極的に行っている既存店の「ウツワ」強化策をご紹介します。



Business News



■ユニテッドアローズ 池袋店



■ユニテッドアローズ 横浜店



●ユニテッドアローズ業態

ユニテッドアローズ業態は、商品企画力強化策、店舗運営力向上策など各種施策の成果が実り、上半期を通して好調な売上を維持することができました。

メンズ商品部門では、主力商品のジャケット、シャツ、パンツといったアイテムに焦点を当て、よりトレンドに合った商品展開を行った結果、売上が大きく盛り上がりました。ウイメンズ商品部門では、2004年8月に彩貨部門（シューズ、バッグ類）を衣料部門から独立させ、企画力の向上、販売部門との連携強化を図った結果、衣料部門をけん引するほどの存在となりました。

店舗運営策においては、各店舗における販売スタッフが100項目にものぼる「セルフ点検シート」にて業務全般の再点検を行うなど、接客力向上と業務の効率化を図りました。

出店面では、上半期に渋谷公園通り店、横浜店の増床、池袋店の全面改装を行いました。

※出店策については、5、6ページの特集をご覧ください。

■ビジネスユニット合計売上高前年同期比106.8% 既存店売上高前年同期比106.4%

●ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング業態

ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング業態は、新マーチャングダイジングシステムの導入、商品企画部門体制の見直しが功を奏し、売上が好調に推移いたしました。

店頭を起点とし、一年を52週に細分化したマーチャングダイジングシステムが、今秋冬物商品の立ち上がりから始動いたしました。週単位で商品投入計画を策定し、それに合わせた企画、生産、販促活動を行った結果、在庫の増加率が売上上の伸び率を下回るなど、売上効率が劇的に改善しています。

ウイメンズ商品部門では、商品の嗜好をより女性的なラインのものにするなどの商品企画精度の向上を図った結果、売上が高い水準で推移いたしました。

出店面では、上半期に岡山店の新規出店、名古屋店の増床、船橋店の改装を行い、当中間期末で22店舗体制となりました。

■ビジネスユニット合計売上高前年同期比121.9% 既存店売上高前年同期比105.6%



■グリーンレーベル リラクシング 岡山店



■グリーンレーベル リラクシング 船橋店

●クロムハーツ業態

クロムハーツ業態は、主力のアクセサリーをはじめ、衣料、雑貨などすべてのアイテムが好調に推移いたしました。お客様によるハウスカードの保有率がますます高まり、ご購入履歴を分析し、よりターゲットを絞った販促活動を行うことで、新たなお客様層を広げることができました。米クロムハーツ社から日本のマーケットニーズにあった商品を供給できたことが好調さを後押ししました。

■ビジネスユニット合計売上高前年同期比128.0% 既存店売上高前年同期比124.3%



■クロムハーツ '05秋冬広告写真

●S.B.U. 及び UAラボ

S.B.U.及びUAラボでは、これまでUAラボであった「チェンジズ ユナイテッドアローズ」「オデット エ オディール ユナイテッドアローズ」「ドゥローワ」を、より戦力的拡大が見込める事業と判断し、4月1日付けでスモールビジネスユニットへと格上げいたしました。また、5月には、「チェンジズ ユナイテッドアローズ」から、おしゃれに、そして自分磨きに積極的に取り組む女性へご提案する新ストアブランド「ジュエルチェンジズ」をデビューさせるなど、積極的な展開を行ってまいりました。2005年3月にスタートした「ダーズリン・デイズ」事業は、知名度の向上とともに売上規模も徐々に拡大しつつあります。

出店面では、「ジュエルチェンジズ 新宿店」のほか、「ダーズリン・デイズ」事業の旗艦店となる丸の内本店、「オデット エ オディール ユナイテッドアローズ 横浜店」の新規出店と、「オデット エ オディール ユナイテッドアローズ 新宿店」の増床を行いました。

■ビジネスユニット合計売上高前年同期比157.9% 既存店売上高前年同期比112.1%



■ジュエルチェンジズ 新宿店

ウイメンズ軸

メンズ軸

主力業態 (3事業 50店舗)



ユニテッドアローズ 23店舗+レーベルイメージストア (L.I.S.) 2店舗*

年齢軸で対象を制限せず、ファッション感覚が高くファッションコミットメントの高い方を対象としている。商品はUAトラッドマインドを基本に国内外から調達したメンズドレス・カジュアルとウイメンズドレス・カジュアルおよび服飾・生活雑貨を取り扱う。



ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング 22店舗

「relaxing hearts」をテーマとし、20代中頃から30代中頃の方をメインターゲットに、シンプルで上質なライフスタイルのご提案を行う。ビジネスパーソン向けのスーツから、カジュアルウエア、さらにはキッズ、マタニティや生活雑貨、トイまでも揃える。



クロムハーツ 3店舗

米国クロムハーツ社の商品のみを展開するブランドショップ。アクセサリー全般からレザーウエア、バッグ、小物類の取り扱いや、家具・ホームウエアまでのライフスタイル全般アイテムを展開。

スモールビジネスユニット (S.B.U.) (5事業 19店舗)



アナザーエディション 7店舗

レディスヤング、キャリア、ヤングミセスを対象とし、商品は「My favorite things」をコンセプトに、旬なアイテムからベーシックなものまでエッジのきいたオリジナルアイテムと国内外からセレクトしたアイテムを編集・提案。



チェンジズ ユニテッドアローズ 3店舗

女性であること、おしゃれをすることを楽しむ女性向け、旬なデザイナーズアイテムやオリジナリティ溢れるスタイル提案を発信するウイメンズショップ。



オデット エ オディール ユニテッドアローズ 4店舗

おしゃれ感度の高い層、セレクトショップで洋服を選ぶキャリア層へ向け、女性の持つ優しさや知性的で活発な両面を表現したシューズ・バッグ・雑貨等を展開。



ドゥローワー 2店舗

「21世紀の母娘」「ファッション界のオピニオンリーダー」向け、世代を超えて支持される商品を取り揃える。ほんの少しのモード(最先端の流行)と上質なスタンダードアイテムで展開。



ダーズリン・デイズ 3店舗

45歳~60歳の「ほんもののゆたかさを知っている大人」へ向け、リラックスしたラグジュアリー・ウエアを提案する。



時しらず 2店舗

「ブランドネーム」にこだわらない、洋服好きな層に向け、生地や縫製に重きを置き、長く愛着がわくアイテムを提案するメンズショップ。

UAラボ (1事業 2店舗)

* 2005年3月期までスモールビジネスユニット (S.B.U.) であった「ザソブリンハウス」「ディストリクト ユニテッドアローズ」につきましては、2006年3月期よりユニテッドアローズ業態内の「レーベル イメージストア (L.I.S.)」へ位置付けを変更し、オリジナルブランドのイメージ向上を担うショップとして運営を行ってまいります。

NEW 新店情報

2005年4月~2005年9月の
出店、改装等

- ユニテッドアローズ 渋谷公園通り店増床オープン (6月10日)
- ユニテッドアローズ 池袋店改装オープン (9月2日)
- ユニテッドアローズ 横浜店増床オープン (9月9日)
- グリーンレーベル リラクシング 名古屋店増床オープン (8月27日)
- グリーンレーベル リラクシング 船橋店改装オープン (9月2日)
- グリーンレーベル リラクシング 岡山店オープン (9月15日)

- ジュエルチェンジズ 新宿店オープン (5月10日)
- オデット エ オディール 横浜店オープン (9月9日)
- オデット エ オディール 新宿店増床オープン (9月2日)
- ダーズリン・デイズ 丸の内本店オープン (6月25日)
- 代官山 時しらず移転増床オープン (8月21日)

ブルース・ウェバーとの素晴らしい出会い

■チーフ・クリエイティブオフィサー 栗野 宏文

COLUMN

2005年10月から公開された映画「トゥルーへの手紙 (A Letter to True)」は映画監督であり、写真家でもあるブルース・ウェバーの最新作です。「トゥルー…」は愛犬家としても知られるB・ウェバーが、彼のNYの事務所のすぐ目と鼻の先で起きた9・11のテロ事件に際し、彼にとっては家族同様の愛犬たちの安否を気づかい、また不幸にも事故で亡くなった友人・知人への想いのたけを綴りながら、世界から無くならない戦争や暴力に対するメッセージを映画化したものです。

映像によるエッセイ、映像詩とでも言うべき本作品には、30年近くにわたって超一流の写真家として活動してきたB・ウェバーの様々な魅力が満ちています。

カルヴァン・クラインやラルフ・ローレン、或はアバークロンビー&フィッチ等の広告写真やカタログで知られる彼の映像美、或はジャズ・ミュージシャンのチェット・ベイカーの実像を追ったドキュメンタリー映画「レッツ・ゲット・ロスト」のリアルでありながら哀愁を帯びた空気感に他の誰にも真似ることの出来ない世界を持っています。

キャリアの長いB・ウェバーですが、なんと今回、映画の公開に合わせての訪問がそのまま初来日でした。映画公開にタイミングを合わせた期間限定のミュージアムが青山に開館したり、盛大なオープニング・パーティーがあったり…と、B・ウェバーの来日は今年のわが国のファッション業界で最も大きな話題の一つでした。そして、ユニテッドアローズはこの映画の「愛」というテーマに共感し、映画公開に当たったサポートを行ったのです。

関連商品が店頭で販売されるばかりでなく、ユニテッドアローズ (ブルーレーベル) のみのコラボレーション商品も企画進行中です。永くファッション業界で仕事をしてきた我々にとって、何らかのかたちでB・ウェバーという写真家と関わることが出来るのは夢のようなことであり、この上ない喜びでした。

その上、個人的にも雑誌でのロング・インタビューを依頼されました (フィガロジャポン誌)。その為、僕はNYまで出向いたのですが、



B・ウェバーは予想通りヒューマニティーに溢れ、自然体で過ごらない素晴らしい人物だったので。UAとして、そして個人的にも、このような素敵な出会いがあった2005年は忘れられない年となりました。

※「トゥルーへの手紙」は、2005年10月より全国の映画館等にて公開中です。
※「トゥルーへの手紙」と当社のコラボレーション商品を、今後ユニテッドアローズ各店舗にて販売する予定です。詳細につきましては、決定次第当社HP等にてお知らせいたします。
※栗野のブルース・ウェバー監督へのインタビューは、「FIGARO japon (フィガロジャポン)」2005年9月5日号 (阪急コミュニケーションズ社発行) に掲載されました。

文/栗野 宏文 (くりのひろふみ)

1953年5月10日生まれ。大学卒業後より興鈴屋、熊皮スなどファッションビジネスに携わり続け、1989年当社設立に参画。現在、当社常務取締役、チーフ・クリエイティブオフィサーを務める。「ダーズリン・デイズ」では立ち上げの発起人となり、クリエイティブディレクターとして同事業をけん引。

イラストレーション/網中 いづる (あみなか いづる)

ユニテッドアローズ勤務を経てイラストレーターへ。書籍の仕事を中心に雑誌、広告等で活動。最近の主な仕事として「赤毛のアン」(講談社) シリーズ、浜田廣介の童話絵本「むく鳥のゆめ」(集英社)、Casa BRUTUS (カーサブルータス) 表紙、Afternoon Tea (アフタヌーンティー) クリスマス広告等。TIS会員。



中間貸借対照表(要約)

当中間期末の資産合計額は前年同期末比121.4%の30,353百万円となりました。中間貸借対照表の主なポイントは以下の通りです。

1 たな卸資産増加率は売上増加率を下回り推移
当中間期末のたな卸資産は、前年同期末比109.6%の11,879百万円となりました。当中間期の売上高前年同期比は115.4%であり、売上の伸びを下回る効率的な在庫管理を行っております。

2 有利子負債が減少
前年同期末に1,508百万円あった有利子負債は、当中間期末には852百万円まで減少いたしました。当社では今後も極力キャッシュ・フローの範囲内で設備投資を行い、無借金経営を目指してまいります。

科目	第16期中間期 (2004年9月30日現在)		第17期(当期)中間期 (2005年9月30日現在)		前期比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
(資産の部)					
流動資産	15,626	62.5	20,507	67.6	131.2
現金及び預金	1,401	5.6	4,465	14.7	318.5
売掛金	84	0.3	87	0.3	103.8
たな卸資産	10,842	43.4	11,879	39.2	109.6
未収入金	2,670	10.7	3,338	11.0	125.0
その他の流動資産	627	2.5	737	2.4	117.4
固定資産	9,373	37.5	9,846	32.4	105.0
有形固定資産	5,131	20.6	5,329	17.5	103.9
無形固定資産	535	2.1	477	1.6	89.1
投資その他の資産	3,706	14.8	4,039	13.3	109.0
資産合計	25,000	100.0	30,353	100.0	121.4
(負債の部)					
流動負債	7,301	29.2	9,841	32.4	134.8
買掛金	3,902	15.6	5,857	19.3	150.1
1年以内返済予定の長期借入金	656	2.6	672	2.2	102.4
未払金	1,189	4.8	1,670	5.5	140.5
未払法人税等	862	3.4	1,036	3.4	120.2
その他の流動負債	691	2.8	604	2.0	87.6
固定負債	1,096	4.4	437	1.5	39.9
長期借入金	852	3.4	180	0.6	21.1
その他の固定負債	244	1.0	257	0.9	105.3
負債合計	8,398	33.6	10,278	33.9	122.4
(資本の部)					
資本金	3,030	12.1	3,030	10.0	100.0
資本剰余金	4,095	16.4	4,095	13.5	100.0
利益剰余金	12,058	48.2	15,401	50.7	127.7
自己株式	△2,582	△10.3	△2,453	△8.1	95.0
資本合計	16,601	66.4	20,074	66.1	120.9
負債・資本合計	25,000	100.0	30,353	100.0	121.4

■株主資本比率推移



設備投資額

当中間期の設備投資額は692百万円となりました。この主な内容は、新規出店や店舗改装等の営業設備投資によるものです。

■設備投資額



中間損益計算書(要約)

当中間期の売上高は前年同期比115.4%の23,641百万円となり、中間純利益は前年同期比126.0%増の1,494百万円となりました。中間損益計算書の主なポイントは以下の通りです。

1 中間売上高は創業以来連続増収
当中間期の売上高は23,641百万円となり、中間期として創業以来連続増収となりました。なお、通期の予想売上高(52,196百万円)につきましても、創業以来の連続増収となる見込みです。

2 各段階利益は中間最高益更新
当中間期の営業利益、経常利益、中間純利益は、すべて中間期の過去最高益を更新いたしました。

3 実質的な1株当たり配当金は株式公開以来、6期連続増配予定
当中間期の1株当たり中間配当は5.00円となりました。また期末配当12.00円を含めた通期配当は17.00円を予定しており、株式分割を考慮に入れた実質的な1株当たり配当金は株式公開以来、6期連続増配を予定しております。

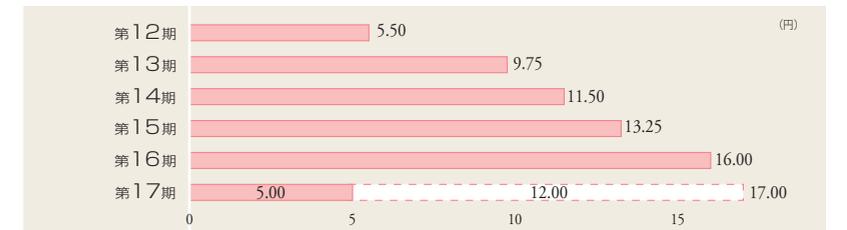
中間キャッシュ・フロー計算書(要約)

当中間期末の現金および現金同等物は、前年同期末に比較し637百万円増加し、4,465百万円となりました。キャッシュ・フロー計算書の主なポイントは以下の通りです。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、中間純利益の増加や仕入債務の増加等により、1,801百万円のキャッシュインとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に営業設備投資により、673百万円のキャッシュアウトとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払い等により、489百万円のキャッシュアウトとなりました。以上の結果、当中間期末の現金および現金同等物は、4,465百万円となりました。

科目	第16期中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)		第17期(当期)中間期 (2005年4月1日から 2005年9月30日まで)		前期比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
売上高	20,485	100.0	23,641	100.0	115.4
売上原価	9,560	46.7	10,900	46.1	114.0
売上総利益	10,925	53.3	12,740	53.9	116.6
販売費及び一般管理費	8,853	43.2	9,827	41.6	111.0
営業利益	2,071	10.1	2,913	12.3	140.6
営業外収益	86	0.4	102	0.4	118.3
営業外費用	70	0.3	92	0.3	132.2
経常利益	2,087	10.2	2,922	12.4	140.0
特別利益	2	0.0	0	0.0	—
特別損失	69	0.3	373	1.6	540.7
税引前中間純利益	2,020	9.9	2,549	10.8	126.1
法人税、住民税及び事業税	817	4.0	985	4.2	120.4
法人税等調整額	△17	△0.1	△70	△0.3	399.3
中間純利益	1,185	5.8	1,494	6.3	126.0

■1株当たり実質配当金推移グラフ



※ グラフの1株当たり配当金は2004年5月の株式分割(1:2分割)を考慮し、分割後換算したものであります。

科目	第16期中間期 (2004年4月1日から 2004年9月30日まで)	第17期(当期)中間期 (2005年4月1日から 2005年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー	685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	△489
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△231	637
現金及び現金同等物の期首残高	1,623	3,827
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,391	4,465

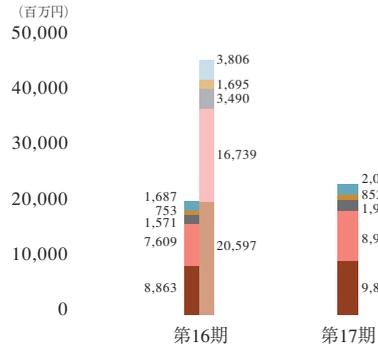
■キャッシュ・フロー



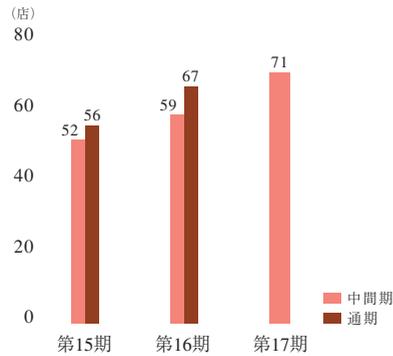


売上・店舗データ

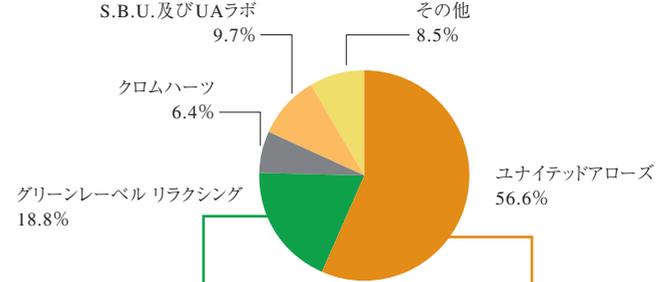
品目別売上高 *1,2



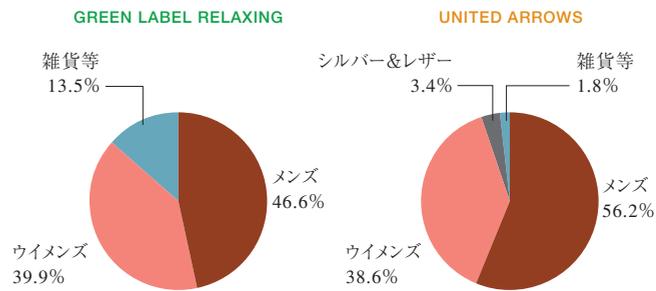
店舗数の推移



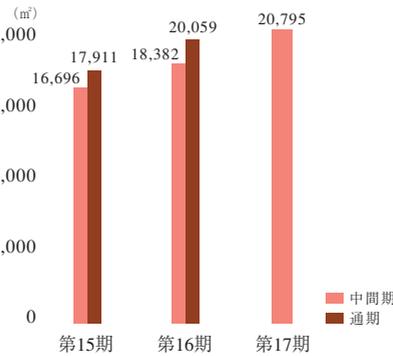
業態別売上高構成比



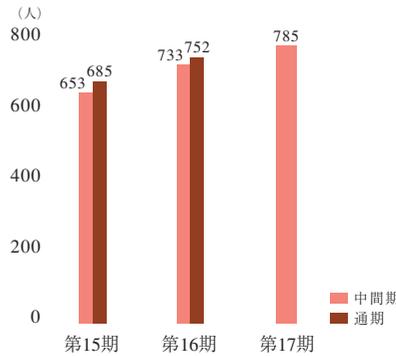
品目別売上高構成比



店舗売場面積の推移



従業員数の推移



* 1. 第17期より「ビジネスユニット計」の項目を新設いたしました。同項目には、小売、卸売、通販、フォーマルレンタルの売上が含まれております。「その他」には、アウトレット、催事販売の売上が含まれております。第16期の売上高につきましては、溯及算出しております。
 * 2. 第16期までS.B.U.及びUAラボであった「ザ ソブリンハウス」「ディストリクト ユナイテッドアローズ」は、第17期より「ユニテッドアローズ レーベル イメージストア (L.I.S.)」となり、ユニテッドアローズの中に売上高、店舗売場面積が含まれております。第16期の売上高、店舗売場面積につきましては、溯及算出しております。



* 1. 売場面積の計算基準は期中平均によっております。
 * 2. [] 内の数値は、平均従業員数(人)であり、アルバイト(1人1日8時間換算)を含みます。



UNITED ARROWS LTD.

株式データ

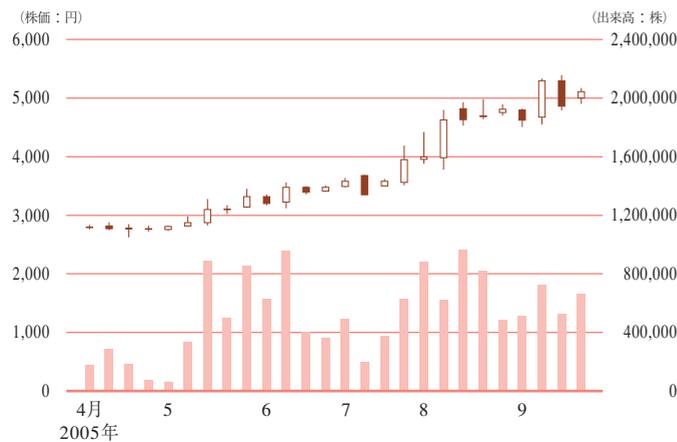
(2005年9月30日現在)

株主総数	2,753名
会社が発行する株式総数	95,400,000株
発行済株式総数	23,850,000株
大株主*1、2	

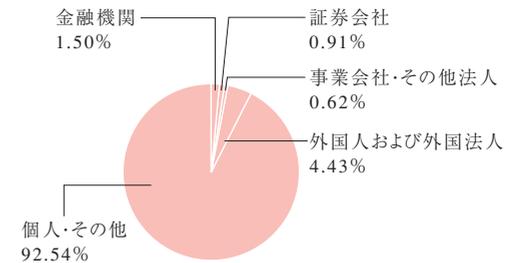
株主名	持株数	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	2,225,400株	10.0%
重松理	2,160,000	9.7
畑崎廣敏	2,000,000	9.0
株式会社ワールド	1,550,600	7.0
栗野宏文	1,126,000	5.0
岩城哲哉	1,106,000	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	1,094,600	4.9
水野谷弘一	1,086,000	4.9
インベスターズバンク	581,100	2.6
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	566,700	2.5

* 1. 議決権比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社が保有する自己株式1,757,820株は表中には含めておりません。

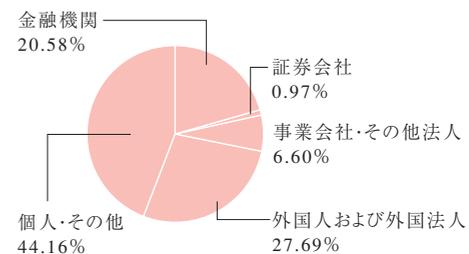
株価チャート



所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

決算期	3月31日(年1回)
利益配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当を行う場合は、	9月30日
定時株主総会	6月下旬
名義書換代理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

※ 決算公告につきましては、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページに掲載しております。掲載アドレスは、以下のとおりです。
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/koukoku.html>



UNITED ARROWS LTD.

トピックス

「フジロック フェスティバル'05」に協賛

ユニテッドアローズは、2005年7月29日から開催された「フジロック フェスティバル '05」に協賛いたしました。「音楽や自然を介して、お互いが人としてふれあい、助け合い、愛し合える場を提供する」。当社はこのフジロックフェスティバルが掲げるコンセプトに賛同し、2004年よりサポート活動を行っております。

ユニテッドアローズでは、3種類のオフィシャルTシャツを企画、制作し、全国の「ユニテッドアローズ」、「アナザーエディション」の各店舗、ネットショッピングタウン「ZOZOTOWN(ゾゾタウン)」(一部商品のみ)にて販売したほか、フジロック フェスティバル会場にて販売された各種オフィシャルグッズなどを入れるオリジナルのエコ素材ショッピングバッグを企画、制作し提供いたしました。ショッピングバッグは、フジロックの大きな特徴



である「エコロジー」に配慮し、本体には焼却時に有害物質の発生を抑制する素材入りのポリエチレンを、紐、ハトメには焼却しても有害物質が発生しないポリプロピレンを使用しております。

会場内では、このオフィシャルTシャツを身に付け、ショッピングバッグを片手に歩くお客様の姿が多く見られました。

【UNITED ARROWS KIMONO】デビュー

ユニテッドアローズ業態は、2005年5月、ウイメンズ初となるオリジナル和装レーベル【UNITED ARROWS KIMONO】をスタートいたしました。これは、日本の伝統服“Japanese Tradition”である着物を、国際的な観点のもとに新たな角度から捉えなおしたいという発想から実現させたものです。

当春夏シーズンは、浴衣を中心に展開いたしました。浴衣の生地は、日本の伝統的な本藍の3柄、モダンとの融合をテーマに起こしたオリジナル柄12種類、色別注が5種類。帯、下駄、かんざし、巾着などの和小物も選りすぐりをご用意いたしました。

当秋冬シーズンには、着物の展開も新たに始め、日本の伝統的な絞りで【京絞り】や、ストライプ・花柄・

ドットなどのオリジナル柄の小紋中心に、オリジナルの和装小物も充実した品揃えでご提供してまいります。

【UNITED ARROWS KIMONO】は、ユニテッドアローズ 原宿本店 ウイメンズ館、和装小物のみを日本橋店、京都店などで展開しております。

詳細は、ユニテッドアローズ 原宿本店 ウイメンズ館にお問い合わせください。





UNITED ARROWS LTD.

会社概要

(2005年9月30日現在)

商号	株式会社 ユナイテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
資本金	30億30百万円
従業員数*	785名 (アルバイト 774名)
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1. UFJ銀行 2. 三井住友銀行 3. 東京三菱銀行

役員一覧

(2005年9月30日現在)

代表取締役会長	重松 理	常勤監査役	西脇 良作
代表取締役社長	岩城 哲哉	常勤監査役	中島 由香里
常務取締役	水野谷 弘一	監査役	桜木 忠勝
常務取締役	栗野 宏文	監査役	相川 光生
取締役	高梨 宏史		
取締役	畑崎 廣敏		

沿革

(2005年9月30日現在)

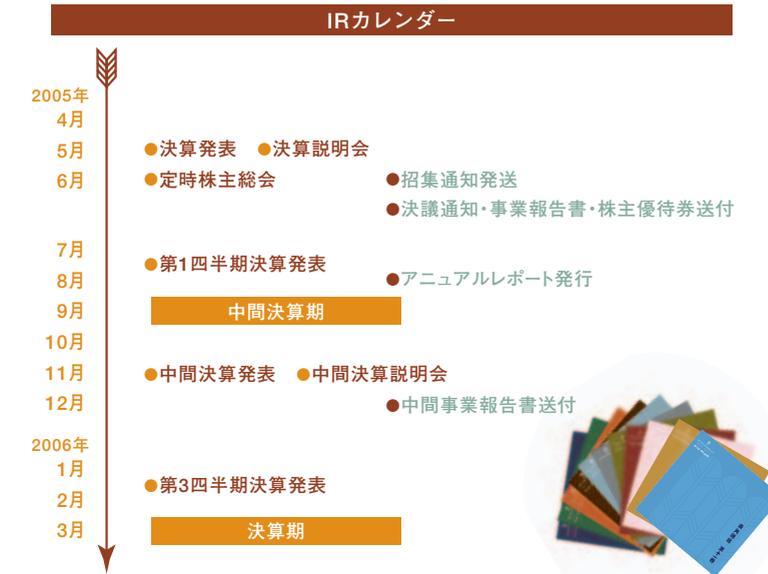
1989年 10月	東京都渋谷区（神宮前二丁目）にて、株式会社ユナイテッドアローズを創業
1990年 7月	東京都渋谷区（神宮前六丁目）に、ユナイテッドアローズ第1号店となる渋谷店をオープン
1992年 10月	東京都渋谷区（神宮前三丁目）に、ユナイテッドアローズ 原宿本店をオープン
1999年 7月	日本証券業協会（現ジャスダック）に株式を店頭登録
1999年 9月	実験事業「グリーンレーベル リラクシング」を業態化
1999年 12月	実験事業「クロムハーツ」を業態化
2002年 3月	東京証券取引所 市場第二部に株式を上場
2003年 3月	東京証券取引所 市場第一部銘柄に指定
2003年 9月	ユナイテッドアローズ 原宿本店を増床、リニューアルオープン
2004年 6月	代表取締役会長に重松 理、代表取締役社長に岩城 哲哉が就任

*従業員数は就業人員であり、アルバイト数は外数で記載しております。



UNITED ARROWS LTD.

ご案内



『IRお知らせメール』配信中

ご希望の投資家様宛に、毎月の月次売上概況、各種プレスリリースなどをメール配信しております。配信ご希望の登録は、当社HPにて受付しております。

- IRお知らせメールに関するご案内
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/oshirase.html>
- IR情報ページ
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/>

株主優待券について

2005年6月に配布されました株主優待券には、有効期限がございます（有効期限：2006年6月30日まで）。ご確認のうえ、是非、期限内にご利用いただけますようお願い申し上げます。優待券のご利用可能店舗などの詳細につきましては、当社HPに掲載しております。



アンケートにご協力ください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施させていただくことといたしました。お手数ではございますが、以下の方法によるアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

https://www.e-kabunushi.com アクセスコード **7606**

上記URLは携帯電話からもアクセスできます。

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

アンケート実施期間は、本事業報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間（2006年2月10日まで）となりますのでお早めのご回答をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートに関するお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 MAIL: info@e-kabunushi.com <ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます>

■ユナイテッドアローズ ホームページ アドレス

<http://www.united-arrows.co.jp/>

本誌内容に関することは、当社社長室 IR・広報課にお問い合わせください。

tel.03-6418-0845 e-mail:IR@united-arrows.co.jp



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。